

2024年度(令和6年度) 長野県工科短期大学校 事業計画・評価表

	事業計画				評 価			外部評価					委員コメント
	大項目	小項目	担当	取組内容	自己評価	評価の根拠	関連資料	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	
教 育	社会に期待される人材教育	・ITリテラシ教育の充実 ・専門知識と実践力の習得	企画総務委員会、教員	・カリキュラムに導入した「データサイエンス・AI概論」講義を実際に実施する。 ・実験・実習に重点を置いた授業。 ・地域企業との連携および実践力養成のため、卒業研究発表会の公開。	s	・データサイエンス・AI概論を全学科で実施した。 ・サイバーセキュリティセミナーを全学生対象1回、IoT実践講座をシス制御学生対象3回、情エレ学生対象3回、合計7回実施した。 ・全学科で卒業研究発表会を公開した。（電子情報系：サントミューゼにて公開発表、機械系：インターネット配信）	別紙1 別紙2	s	s	s	s	s	・講義「データサイエンス・AI概論」を実施した。卒業研究発表会を公開した。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・DXは国も推進しており、取り組みも素晴らしい。今後も大切な取り組みだと思います。 ・卒業研究発表会をリアルで開催するのは、学生の能力育成のためにも非常に有効と思われます。
	授業理解の増進	・大学導入教育 ・専門知識の習得	企画総務委員会、教員	・1年前期における導入教育 ・大学数学基礎の修得機会の提供	b	・4月に導入教育として、「スタディ・スキルズ」を実施した。 ・全学科で1年前期に、高校数学の演習科目を実施した。 ・全学科において、大学数学基礎として、微積分学、線形代数学を実施した。	別紙1 別紙2	b	b	a	b	b	・導入教育を実施し、数学基礎の習得機会を増加させた。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・基礎学力の向上は必要不可欠と思います。 ・学生募集と関係しますが、「2年＋半期」や「3年」での卒業など、多様な学び方を提示することも必要かもしれません。（就職に不利になることもないと思います。）
	学校生活の充実	・学生の学びの支援（新規）	学生委員会	・後援会による活動・財政支援（学生自治会活動等に対して） ・競技大会参加時の旅費等の助成	a	・学生が科学イベントに参加する際の日当の規定を設けた。活発な活動が行われ合計28件、総額182,800円を支援した。 ・学生自治会への運営補助資金を提供した。 ・各種競技大会出場時の学生の旅費の一部を補助した。	—	a	a	a	a	a	・学生生活充実のための活動に経済支援を提供した。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・学生の自主的活動を更に伸ばしていただきたい。
	4年制大学編入学制度の確立	・編入実績をあげるための編入希望者の支援（新規）	企画総務委員会	・大学側の編入学募集要項の改訂（応募資格に職業能力開発短期大を明記）	b	・信州大学工学部、繊維学部、農学部、理学部および諏訪東京理科大学のR7編入学学生募集要項を改定して頂いた。 ・機械シス1名が工学部と繊維学部の編入試験を受験した。合格はできなかった。	—	b	b	a	b	b	・編入学の制度を整え、受験しやすくした。1名が受験した。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・合格者数で評価を決めるべきではないと思います。制度が実現し、志望する学生がいれば十分評価できる。
研 究	研究の推進	・研究活動の活性化 ・共同研究による地域貢献	教員	・学会発表や学術専門誌への投稿 ・地域企業等との共同研究の推進 ・信州大学工学部、繊維学部等との共同研究・プロジェクトの推進	a	・教員全員が個別テーマを掲げて研究推進し、学会発表や専門誌投稿を行っている。 ・地域企業、大学等、産総研等との共同研究を12件推進している。 ・教育研究振興会 研究助成に4件（各学科1）採択	概況 P14, P15, P18, P19	a	a	a	a	a	・活発な研究活動を展開した。共同研究やプロジェクト研究も推進した。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・地域企業との共同研究の充実、工科短大の存在意義の大きな要素の一つと思います。
	研究資金の獲得	・外部研究資金の申請	教員	・外部資金の獲得	a	・科学研究費助成事業 基盤研究Cに新規2件、継続3件（情エレ3、知能2）採択 ・TAKEUCHI育英奨学会研究助成に3件（機械1、制御1、情エレ1）採択 ・池谷科学技術振興財団 研究助成に新規1件（情エレ）採択	概況 P15～P17	a	a	a	a	a	・外部資金を活発に取得した。科学研究費助成事業や各財団の研究助成に採択された。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・採択率を高めることにより、教員が申請に対して、さらに意欲が高まると思います。（ARECでは、必要に応じ申請支援など協力させていただくことも可能です。）
地 域 貢 献	地域社会への貢献 産学官連携	・地域、科学イベントへの参加	広報委員会、教職員	・青少年に科学技術に親しむ環境を提供 ・青少年に科学の興味深さや面白さを伝えるイベントへの参加 ・ものづくり教室 in 工科短大の開催 ・まちなかキャンパスうえだ（まちキャン）の活用	a	・青少年のための科学の祭典、ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス、まちなかキャンパスうえだに参加した。 ・知能情報学生が中学生向けに模擬授業「プログラミング体験 スマホアプリを作ってみよう!」を行った。	—	a	a	a	a	a	・青少年対象の科学技術イベントに参加した。学生が中学生に対して模擬授業を行った。 ・自己評価通りで、異論ありません。
		・信州P-TECH運営の検討と充実	DX推進委員会	・5年間（高校3年間、短大2年間）のうちの3年目の教育、プロジェクト課題内容を関係者全員で検討し、実施する。	a	・機械シス教員が高大連携としてエコランカー技術サポートを行った。 ・全学生対象にDX推進セミナーを実施した。 ・信州P-TECHスタートアップイベントを実施した。	—	a	a	a	a	a	・信州P-TECHの運営を検討し、充実を図った。高大連携事業として、技術サポートした。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・信州P-TECHは他の工業高校にも広げられたらと思います。高大連携も更に進めていただきたい。 ・P-TECH連携企業にソフト系企業を増やしてもいいのではないかな。
校 運 営	入試の改善	・アドミッションポリシーに基づく学生募集要項（新規）	入試委員会	・推薦入試における数学出題範囲検討 ・入学までに履修すべき科目等の検討	a	推薦入試「数学」の出題範囲を、数学Ⅰに関しては「数と式」「図形と計量」「二次関数」、数学Ⅱに関しては「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」とした。	—	a	a	a	a	a	・推薦入試での数学の出題範囲を明示した。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・数Ⅱまで広げたことに異論はありません。出題範囲、難易度も示していただけると高校生も対策をとりやすいと思います。
	広報の活性化	・本校認知度の向上 ・高等学校訪問 ・オープンキャンパスの実施および充実	広報、入試委員会	・高等学校単位やグループでの見学の受入れ ・本校ウェブページの活用 ・教職員による高校訪問、進学説明会への参加 ・オープンキャンパスの年間3回の実施	b	・6～7月にかけて高校訪問を実施した。全教職員により、のべ57校を訪問した。 ・7月、8月、11月の3回オープンキャンパスを企画、開催した。	—	b	b	a	a	b	・教職員が高校訪問した。オープンキャンパスを開催した。 ・自己評価通りで、異論ありません。
	県内企業への就職	・県内企業就職者の追跡調査（新規）	就職委員会	・長野県の企業への人材供給が主要な任務の一つである。そこで、企業内での評価も含めて、どの程度実現しているかを算出する。	a	・企業向けアンケートの実施要領を定めた。（調査対象：企業研究セミナーに参加実績のある企業、実施時期：2025年度内、調査内容：定着率、学生に求められる資質、本校教育内容）	—	a	a	a	b	a	・県内企業向けアンケートの実施要領を決めた。 ・自己評価通りで、異論ありません。 ・即戦力となる実践的教育を行う機関として、受入企業側の評価は特に重要と思われますので、早期実施が望まれます。
	入学試験受験者数	・入学試験出願倍率	教職員	・校の魅力向上とあらゆる広報活動をとおして、入学試験出願倍率（出願者数／定員数）1.5倍を維持、向上させる。	b	・入学試験出願倍率（出願者数／定員数）が1.025倍と大幅に落ち込んだ。高校進路指導主事等への聞き取り調査を通じて原因を明らかにする。	概況 P9	a	b	b	b	c	・教職員は、「工科短大の魅力向上活動と広報活動」に対して注力した。 ・「概況9頁」の実績表に、出願倍率も記載するとわかりやすいです。 ・工業校長会で説明ができます。工業校長会としても志願者を増やしたいので、意見交換会なども開催できたらと思います。 ・工科短期大学を卒業して活躍している人材のPRが必要ではないか。 ・時代も変わり、若者の進学に対しての考えも変わってきている。種々の方々に、意見を伺ってもらい、改革に早急にチャレンジしていただきたい。

【評価区分】 s：事業計画を大幅に上回る（特に優れる若しくは顕著な成果） a：事業計画を上回る（計画を上回って十分な実施） b：事業計画を実施（計画どおりに実施） c：事業計画はやや遅れている（計画をおおむね実施若しくは下回る実施） d：事業計画を十分に実施せず（特に劣る若しくは実施せず）

自己評価より高い評価 自己評価より低い評価